

登録コード	TT110204	開講年度	2026				
授業科目	学外特別実習（電電）					担当教員	番場 教子
英文授業名	Internship					副担当	
単位数	1	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 Tカリ						
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				学外での講義・活動を経験することにより、学際領域に関する知識を修得することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	企業・団体等の電気電子工学に関連したインターンシップに参加し、プログラム終了後にレポートを提出する。						
(5)授業計画	事前に当該年度のインターンシップ担当教員に相談のうえ、企業・団体等のインターンシッププログラムに従って実施する。						
(6)成績評価の方法	インターンシッププログラム終了後速やかにレポート（A4）およびプログラム担当者（実習先責任者）作成の実習証明書（A4任意フォーマット、ただしサインまたは捺印が必要）を提出する。このレポートの内容と実習証明書に基づき成績の判定を行う。						
(7)成績評価の基準	「水準にある」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加し、レポートと実習証明書を提出した場合、 「やや上にある」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出した場合 「かなり上にある」企業・団体等のインターンシッププログラムに参加、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出、90時間以上の学修があった場合 「卓越している」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出、90時間以上の学修、企業・団体等から高い評価コメントを得た場合						
(8)事前事後学習の内容	2単位修得するには、90時間の学修が必要となる。 通常の週1回授業で2単位の授業では授業時間30時間（2時間×15回）、自習学習時間60時間（4時間×15回）となる。 企業・団体等へのインターンシップにおいて、それと同等とみなせるかは事前に当該年度のインターンシップ担当教員に相談すること。						
(9)履修上の注意	レポートはA4用紙を用い、下記のフォーマットに従って作成する。 ・学籍番号 ・氏名 ・企業名および部署名 ・プログラムの期間 ・プログラムの概要 ・応募の目的 ・得られた知見やスキル ・まとめと感想 詳細は事前に 当該年度のインターンシップ担当教員（副学務委員）に相談すること。						
(10)質問,相談への対応	メールなどにて随時受け付ける。教員室に来る場合は事前にアポイントメントをとること。						
(11)その他	なし						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						